

日本輸血・細胞治療学会認定医 受験申請の手引

2023年5月

認定医試験受験予定者 各位

日本輸血・細胞治療学会 認定医制度審議会
審議会長 面川 進
資格審査委員長 石田 明
試験委員長 野崎昭人
(公 印 省 略)

「2023年度 第32回認定医制度認定試験」について

2023年度第32回認定医制度認定試験を受験予定の方に重要なお知らせです。
同試験は、2023年11月25日（土）、ベルサール神保町（東京都千代田区西神田）において実施予定です。

記

- ・願書の受付は2023年6月1日（木）から7月31（月）消印有効とします。
- ・コロナ禍であるため試験方法を一部変更する可能性があります。詳細は資格審査後、試験の案内と一緒に通知します。
- ・2022年度第31回筆記試験をコロナの影響で辞退した者は願書の申請は必要ありませんが、事務局に再受験についてお問い合わせください。

以上

「1」認定医試験 受験予定者のための事務手続きについて

- 申請方法:日本輸血・細胞治療学会ホームページ(<http://yuketsu.jstmct.or.jp/>)の上部コンテンツ『認定制度』から『日本輸血・細胞治療学会認定医について』の画面に進み、『日本輸血・細胞治療学会認定医制度案内』をご参照ください。
- 申請書用紙:上述のホームページの同画面に掲載されている『日本輸血・細胞治療学会認定医申請書(様式1~4)』をご使用下さい。
- 申請書類の送付方:本手引のP.2「2」受験に関する規約の要旨の(4)申請書類(認定試験受験申請用)に“3部ずつ”と記載されておりますが、①から④(様式1~4)までを一組として綴じて、3組お送りください。3名の審査員に1組ずつ配布するため、各様式毎に3枚重ねることは避けて下さい。
なお⑤-⑦は各1枚で結構です。
- 資格審査基準単位:「資格審査基準単位を50単位以上取得していること」となっておりますが70単位程度を目途にしてください。100単位以上申告いただいても審査に影響を与えませんので過剰にならないようにご協力下さい。
- 密接に関連する他の学会は下記表に記載の学会です。
- 研修歴:指定施設で2年間の研修をやむを得ず受けていない場合は下記問い合わせ先までE-mailでご連絡下さい。
- 問い合わせ先・申請書の送付先:

申請書は必ず書留・宅急便・Letter Pack などでお送り下さい。

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目14-14 ユニテビル5階
日本輸血・細胞治療学会 認定医制度係
電話:03-5804-2611 FAX:03-5804-2612 E-mail:info@mail.jstmct.or.jp
- 受験料の振込先:
郵便振替口座:口座番号 **00100-7-651154** 加入者名 **日本輸血学会認定医制度係**
手続き料6万円(申請料1万円,受験料3万円,登録料2万円)を前納して下さい。

表 密接に関連する他の学会

認定医制度規則第11条の2.記載の「学会に密接に関連する他の学会」は、以下の学会とする。

(平成25年5月15日、認定医制度審議会申し合わせ)

日本内科学会、	日本小児科学会、	日本皮膚科学会、
日本外科学会、	日本整形外科学会、	日本産科婦人科学会、
日本耳鼻咽喉科学会、	日本泌尿器科学会、	日本脳神経外科学会、
日本医学放射線学会、	日本麻酔科学会、	日本病理学会、
日本臨床検査医学会、	日本救急医学会、	日本形成外科学会
日本移植学会、	日本法医学会、	日本人類遺伝学会、
日本ウイルス学会、	日本自己血・周術期輸血学会、	日本造血・免疫細胞療法学会、
日本アフェリシス学会、		

「2」受験に関する規約の要旨

規則に定めるように指定カリキュラムに則り研修を修了してから認定医を申請する場合はこれにあたります。この場合の申請は指定施設の認定医(指導者)による「指定カリキュラム研修修了証明書」が必要となるので、研修開始にあたっては施設の認定医の指導を受けるようにしてください。

- (1) 申請資格:規定の認定医申請資格は下記の1-4のいずれをも満たしているものとします(規則第11条)。

1. 日本国の医籍登録後7年を経ていること。
2. 申請時において5年以上継続して本学会々員であること、ただしこのうち2年は本学会に密接に関連する他の学会の会員歴をもって充てることことができる。なお、他の学会とは日本医学会分科会のうち輸血医学に関連のある学会を指す。その他は審議会において審査する。
3. 指定施設において認定医の指導の下に延べ2年以上

- 研修し、指定カリキュラムを履修していること。
4. 認定医申請資格審査基準単位を 50 単位以上取得していること（細則第 4 条）。
 - (2) 試験：試験は審議会試験委員会によって行われ、申請者ごとに別に連絡します。
 - (3) 申請手続き：申請には下記の必要書類を整え、手続き料 6 万円（申請料 1 万円，受験料 3 万円，登録料 2 万円）を前納してください（細則第 5 条）。ただし書類審査または試験をパスしなかった場合は受験料と登録料の 5 万円または登録料の 2 万円は返却しません。
 - (4) 申請書類（認定試験受験申請用）は以下の如くです。
（①～④は 3 部ずつ、2 部はコピー可）

- ① 日本輸血・細胞治療学会認定医申請書（様式 1）
- ② 日本輸血・細胞治療学会認定医学歴・職歴申告書（様式 2）
- ③ 日本輸血・細胞治療学会認定医指定カリキュラム研修修了証明書（様式 3）
- ④ 日本輸血・細胞治療学会認定医申請用業績目録（様式 4）
- ⑤ 認定医申請資格審査基準単位の証明となるもの（論文発表は別刷，学会発表は抄録のコピー）
- ⑥ 手続き料（6 万円）払い込みの受領書のコピー
- ⑦ 申請書類受書の連絡用ハガキ（切手を貼り，申請者の住所・氏名を記入）

2. 登録者には登録時に「日本輸血・細胞治療学会認定医認定証」を交付し，その旨を学会誌に発表する。
3. 認定証の有効期間は 5 年とする。

「3」受験に関する規約の抜粋

日本輸血・細胞治療学会認定医制度規則

（認定医申請の資格と手続き）

第 11 条 認定医の申請には，次の各項をすべて具備していなければならない。

1. 日本国の医籍登録後 7 年以上を経ていること。
2. 申請時において原則として 5 年以上継続して学会会員であること。ただし，このうち 2 年は学会に密接に関連する他の学会の会員歴をもって充てることができる。
3. 指定施設において，認定医の指導の下に合計 2 年以上研修し，指定カリキュラムを履修していること。
4. 学術論文，学会発表等の業績発表により，認定医申請の資格審査基準に必要な単位を取得していること。

第 12 条 認定医の申請には，必要書類を認定医制度事務局に送付し，所定の認定医申請料及び受験料を納付しなければならない。

（申請者の資格審査及び試験）

第 13 条 審議会は年 1 回申請書類により申請者の資格審査を行い，必要な条件を満たす者に対して試験を行う。

第 14 条 審議会は試験結果について合議し，認定医としての適否を審査し，審査結果を学会理事長に報告する。

（認定医の登録）

第 15 条 学会理事長は審議会の審査結果報告に基づき，適格者を認定医として認定し，「日本輸血・細胞治療学会認定医登録原簿」に登録する。

第 16 条 認定医資格は登録後発効する。

1. 登録は認定医登録料を納付した者に対してこれを行う。

日本輸血・細胞治療学会認定医制度施行細則

（認定医申請の資格審査基準）

第 4 条 規則第 11 条に定める認定医申請の資格審査基準として，次の表により 50 単位以上を取得していなければならない。

認定医申請資格審査基準単位			
	筆頭	共著	備考
原著論文	20	5	輸血医学関連のものに限る
その他の論文	10	3	同上
学会等発表	10	2	同上（抄録記録のあるもの）

（認定医申請の手続き）

第 5 条 認定医の申請には，原則として次の各項の書類を認定医制度事務局に毎年所定の期日までに提出しなければならない。

1. 認定医申請書
 2. 履修歴申告書
 3. 指定施設の認定または審議会による研修修了証明書
 4. 認定医申請の資格審査基準を満たす業績目録等
- 第 6 条 認定医の申請には，認定医申請料 10,000 円および受験料 30,000 円を納入しなければならない。

（認定医の試験）

第 7 条 認定医の試験は筆記，口頭，実技試験とする。

（認定医の登録）

第 8 条 認定医試験合格者は登録料 20,000 円納入ののち認定医として登録され，認定証の交付を受ける。

日本輸血・細胞治療学会認定医制度審議会申し合せ事項

(関連学会)

第1条 規則第11条第2項の「学会に密接に関連する他の学会」とは、日本医学会分科会のうち輸血医学に関連のある学会を指す。その他の学会についてはその都度審議会において審査する。

(受験申請時の研修暦2年に充当可能な学会)

認定医制度規則第11条の2に記載されている「学会に密接に関連する他の学会」は、以下の学会とする。

日本内科学会、日本小児科学会、日本皮膚科学会、
日本外科学会、日本整形外科学会、
日本産科婦人科学会、日本耳鼻咽喉科学会、
日本泌尿器科学会、日本脳神経外科学会、
日本医学放射線学会、日本麻酔科学会、
日本病理学会、日本臨床検査医学会、
日本救急医学会、日本形成外科学会、
日本移植学会、日本法医学会、
日本人類遺伝学会、日本ウイルス学会、
日本自己血輸血・周術期輸血学会、
日本造血・免疫細胞療法学会、
日本アフェシス学会、

(平成25年5月15日申し合わせ)